CVA－V
●ピストン式真空スイッチ取扱説明書●

この度は、CVA-Vピストン式真空スイッチをお買上げいただき有難うございました。
今後とも何卒よろしくご愛願の程お願い申し上げます。

ご使用前に真空スイッチの取扱説明書を必ずご一読下さい。
又、本書は大切に保管して下さい。

⚠注意

①水・油に対する保護はありません。本体に水や油のかかる場所へ取付けないで下さい。
②電気的注意事項
　a）交流と直流では接点の開閉能力が大きく異なりますので、負荷電流・電圧の定格を確認して下さい。
　b）負荷の種類によって、定常電流と突入電流に大差がある場合がありますので許容突入電流値内（10A）でご使用下さい。閉路時の突入電流が大きいほど、接点の消耗量・移転量が増大し、接点の溶着・移転による接点開離不能といった支障を生じます。
　c）誘導を含む場合には逆起電圧が発生し、電圧が高いほどエネルギが大きく、接点の消耗・移転が増大しますので、定格の条件を確認して下さい。又、負荷の0.5m以内にサージキラーを取付ける等の対策をして下さい。
③仕様・外形についてはカタログを参照して下さい。

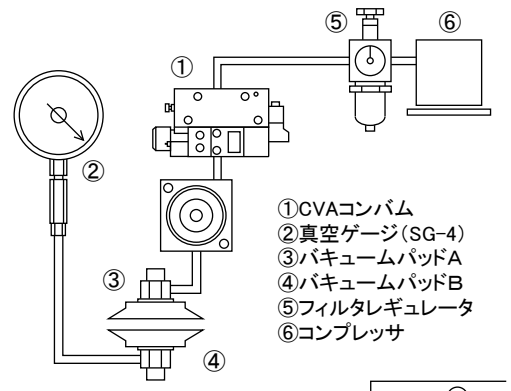
■設定真空度調整方法

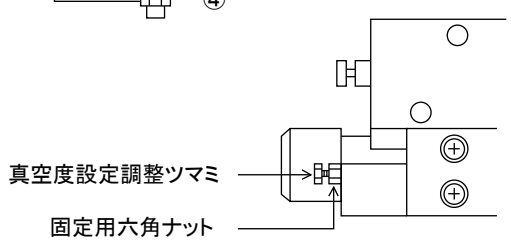
●設定真空度調整方法

○出荷時の設定真空度は-46.6kPaでスイッチがONするように設定してあります。
　それ以外の真空度でONさせる場合は次の要領で調整して下さい。（調整範囲：-33.3～-73.2kPa）

1. 右図のようにご使用のバキュームパッドAと同径のバキュームパッドBを真空ゲージ（弊社型式：SG-4）に接続し、指針が「0」になっていることを確認します。
2. コンバムを真空発生状態にし、右図のようにバキュームパッドAと真空ゲージに接続したバキュームパッドBを共合わせします。次に真空ゲージの指針を見ながら、フィルタレギュレータでコンバムの供給圧力を調整し、指針が設定する真空度と一致するようにします。
3. 真空スイッチの固定用六角ナットをゆるめます。
4. リード線にテスタ（抵抗レンジ等）を接続します（テスタは導通チェックのため抵抗レンジ等に合わせて下さい）
5. 真空スイッチの真空度設定調整ツマミを左へいっぱいに回転させます（右へ回すと大気圧側、左へ回すと絶対真空側になります）
6. テスタ（抵抗レンジ等）に導通表示が出るまで真空度設定調整ツマミを右へ少しづつ回し続けます。
7. 真空スイッチの固定用六角ナットを締付けます。
8. 上記7項までで調整を完了します。再度設定した真空度で正常に作動するか確認して下さい。確認方法はフィルタレギュレータの圧力を一旦下げてから少しづつ上げていき、テスタ（抵抗レンジ等）が導通表示を出した時の真空度が設定値です。真空度が設定値を過ぎている場合は上記7項においての締め付けによる狂いですので、再度上記2～7項を繰り返し行って下さい。
9. フィルタレギュレータをコンバムの適正使用圧力に戻します。

以上で必要とする設定真空度の調整は完了です。



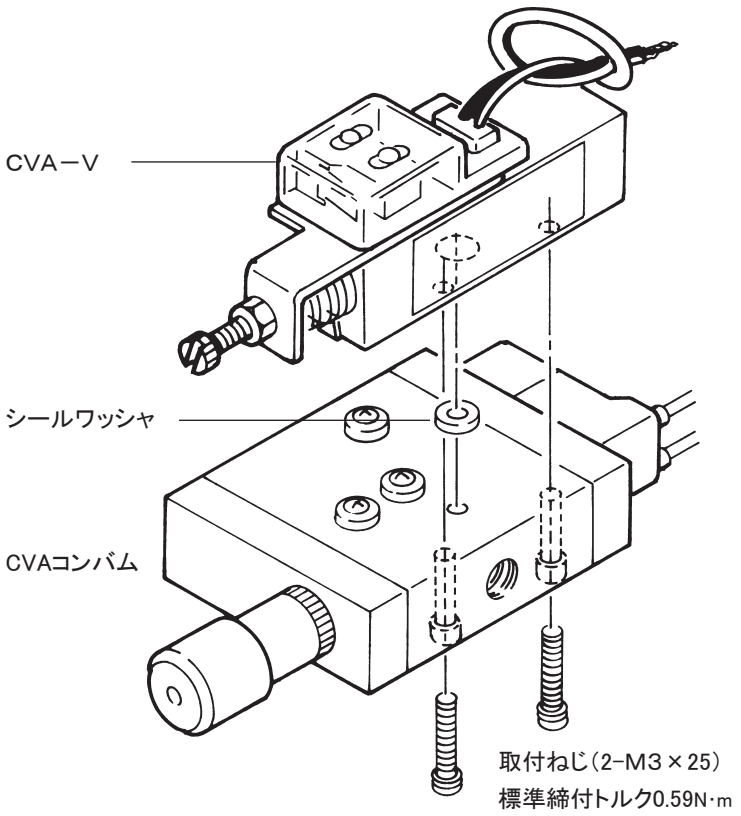


■付属部品

型式	付属部品名	素材寸法	数　量
CVA-V	十字穴付なべ小ねじ	M3×25 ▪ばね座金付	2
		M3×4	1
	シールワッシャ	SEW-M3	1

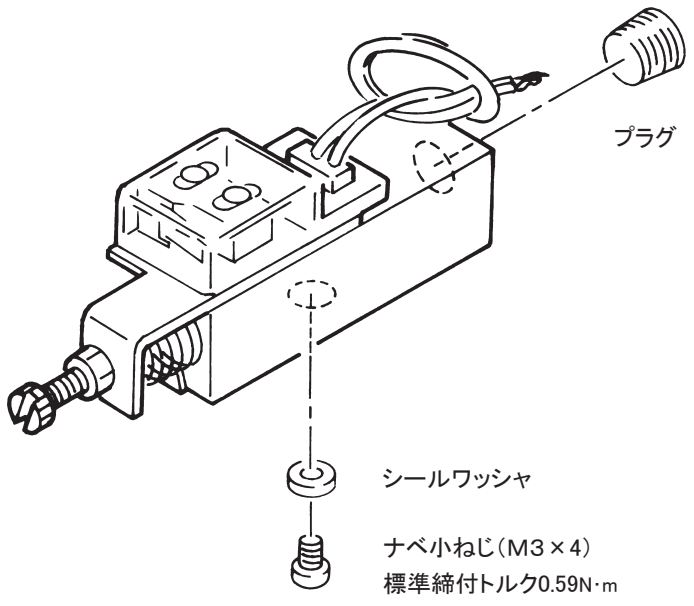
■取付方法

CVAコンバムへの取付方法

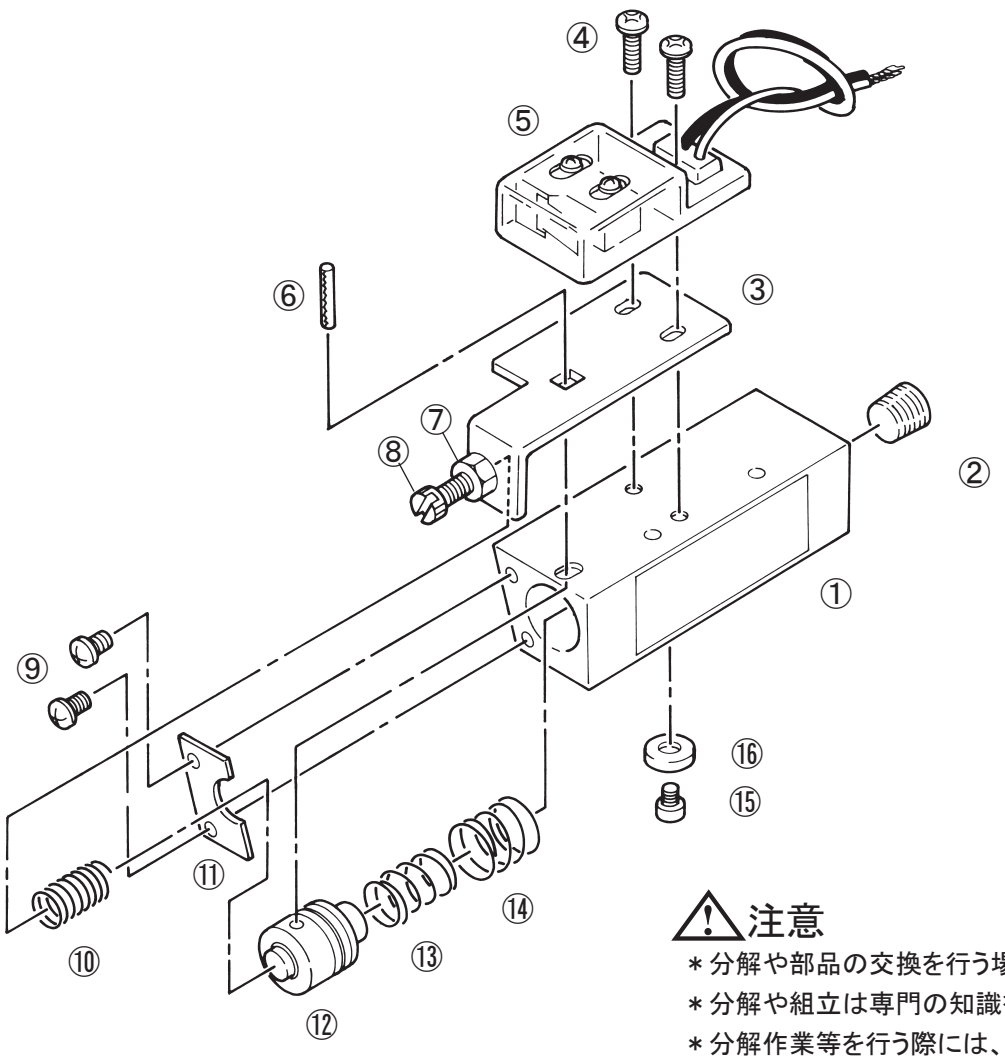


CVA－V単体で使用される場合

●シールワッシャが、なべ小ねじで固定されているか確認して下さい。
（エア漏れの原因となります）
●プラグを外して配管を行って下さい。



■分解図



●各部名称	
①	CVA-V本体
②	プラグ
③	調整板
④	なべ小ねじ（M3×10）
⑤	スイッチAssy
⑥	スプリングピン
⑦	固定用六角ナット
⑧	真空度設定調整ツマミ
⑨	なべ小ねじ（M3×5）
⑩	スプリングA
⑪	ストッパー
⑫	ピストン
⑬	スプリングB
⑭	スプリングC
⑮	なべ小ねじ（M3×4）
⑯	シールワッシャ

⚠注意

＊分解や部品の交換を行う場合は、必ず電源やエアを切ってから行って下さい。
＊分解や組立は専門の知識を有する人が行って下さい。
＊分解作業等を行う際には、安全のため保護メガネ等を使用して下さい。

株式会社 妙徳
ホームページ　http://www.convum.co.jp
E－mail　faq@convum.co.jp

カスタマーサポートセンター
お気軽にお問い合わせください。
0120-340095　0120-498586　0120-415641